

宇都宮けんじさんに期待します

2012年11月22日

憲法が輝く兵庫県政をつくる会

11月29日告示、16日投票で東京都知事選挙が行われます。

私たち「憲法が輝く兵庫県政をつくる会」は、ともに住民主人公の地方自治体をめざす立場から、弁護士宇都宮けんじ氏が訴えておられる「人にやさしい東京都政の実現」を心から期待するものです。

宇都宮氏は、次の「人にやさしい東京をめざして 都政で実現をめざす4つの柱」を発表されました。

- (1) 誰もが人らしく、自分らしく生きられるまち、東京をつくります。
- (2) 原発のない社会へ 東京から脱原発を進めます。
- (3) 子どもたちのための教育を再建します。
- (4) 憲法のいきる東京をめざします。

そして、具体的な政策としても、「消費税引き上げに反対」、「大規模再開発などの支出を見直すこと」、「福祉・医療を充実できる財政を確立」、「再生可能エネルギーの普及など、脱原発のためにできることを、都民の参加と知恵を得ながら検討し、実施する」、「『日の丸』・『君が代』の強制に反対すること」、「子どもたちにあたたかい教育行政に転換すること」、「憲法『改正』に反対すること」、「普天間基地の辺野古移転、欠陥機オスプレイの配備は認めないこと」、「米軍基地のない東京をめざす」などを掲げておられます。

そして、それらの実行のために、「住民参加のもと、実質的な議論を丁寧に進め」ることも表明されています。

私たち「憲法が輝く兵庫県政をつくる会」は、2009年の兵庫県知事選挙において、「人にやさしい兵庫」を訴えてきました。宇都宮氏が「人にやさしい東京をつくる」を呼びかけておられることに、心から共感するものです。

また宇都宮氏は、弁護士として多重債務など貧困の問題に長く携わるとともに、日弁連会長として、人権擁護活動や、東日本大震災と原発事故の被災者・被害者支援などに取り組んでこられました。

今日、地域主権の名で「住民の健康と福祉の増進を図る」とされている地方自治体の役割そのものを、変質・解体させようとする動きが強まっています。また、大阪府・市のように独裁・命令による政治を公然と正当化する地方行政も進められています。

こうした中で、住民が主人公の地方自治体づくりは焦眉の課題となっています。宇都宮氏の掲げる「人にやさしい東京をつくる」都政の実現は、全国への大きな励ましとなるものです。

私たち「憲法が輝く兵庫県政をつくる会」は、宇都宮けんじ氏に心から連帯するとともに、あらゆる努力を尽くすものです。